

L'CREST

電波掛け時計 LCNAWH30

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

警告 … 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意 … 人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容

〈使用上の警告〉

- 本体を分解・改造しない 製品が破損してけがなどの原因になります。
- 梱包用ポリ袋は絶対にかぶらない。乳幼児の手の届かないようにする 窒息の原因になります。
- 取付金具は、乳幼児の手の届かないところに保管する 誤飲や窒息の原因になります。
→万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談する。

〈乾電池についての警告〉

- ショート・分解・加熱・火に入れるなど絶対にしない 液漏れや発火、破裂の原因になります。
- 乳幼児の手の届かないところに置く 誤飲の原因になります。→万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談する。
- 電池の液が皮膚や衣服についたら、水で洗い流す ケガの原因になります。
- 電池の液が目に入った場合はこすらず、きれいな水で洗い流す 失明の原因になります。→ただちに医師と相談する。
- 乾電池を廃棄及び保存する場合は、テープなどで絶縁し、廃棄の際はお住まいの地域の自治体のルールに従う 他の金属と混ぜると、発火・破裂の原因になります。



〈使用上の注意〉

- 強いショックを与えない 故障の原因になります。
- 高温や低温になる場所、湿気やホコリの多い所、窓辺や直射日光にあたる場所、強い磁気のある場所、激しい振動のある場所、工場や台所など油分の多く発生する場所、温泉場などガスの発生する場所、温風機などの乾燥した風があたる場所での使用や保管は避ける 変形や変質、故障の原因になります。
- ゴムやビニール系素材に長い間接触させない 色移りや付着、変質の原因になります。
- おいが気になる場合、換気をよくする 初めのうちは換気をこまめにしてください。
- 包装資材は、お住まいの地域の自治体のルールに従って廃棄してください。

〈乾電池についての注意〉

- 寿命の切れた電池は、すぐに電池ホルダからはずす 故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池をはずす 故障の原因になります。
- 電池が液漏れした場合は、液にふれない ケガの原因になります。

〈取り付けについての注意〉

- 付属の壁掛け用ネジがしっかり固定されていることを確認する 落下してケガや器物破損の原因になります。
- ネジのゆるみを定期的に確認する 落下してケガや器物破損の原因になります。
- 振動のある場所、不安定な場所には取り付けない 落下してケガや器物破損の原因になります。
- 強度の強い材質や構造の壁面、または柱に取り付ける 落下してケガや器物破損の原因になります。
- コンクリート・石膏ボードなどの壁には付属の壁掛け用ネジは使用せず、壁の材質に合わせて市販の取付金具を使用する。
- 壁に取り付けた際には、本体を上下左右に軽く動かし、はずれないことを確認する 落下してケガや器物破損の原因になります。
- 時計は垂直・水平に掛ける 傾きがあると時計の精度や機能が正常に動きません。

お手入れ方法

- 著しい汚れは、うすめた中性洗剤を湿した柔らかい布をかたくしぼって汚れをふき取り、から拭きをする。
- みがき粉、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変色の原因になります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

- 外形寸法：(約)直径310×奥行45mm
- 重量：(約)605g
- 材質：ABS樹脂
- 時間精度：常に±1秒以内(常温での使用時・電波受信時)
- 使用温度範囲：(約)0℃～+40℃
- 使用電池：単3形乾電池×1本(別売)
- 充電式電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能です。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。操作の手順や動作などが、一般の時計品と異なりますので、この取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願いいたします。また、本書はお手元に保管してください。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、2020年7月現在情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所あり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。

● 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照してください。

情報通信研究機構ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

日本国外でのご使用について

本品は、日本での標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

使用場所について

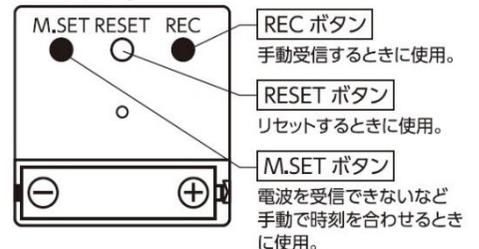
電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を選んでください。

- 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下 (ただし、窓際は比較的受信しやすくなります)
- 山、ビルなどの電波を遮るものの近く
- 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- 自動車、電車、飛行機などの中 (特に移動中は電波障害が起きやすくなります)
- 空港、交通量の多い道路の近くや工事現場など電波障害の起きる場所
- テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明器具の近く
- 金属面(床や壁)に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用ください。

各部の名称

ムーブメント



ご使用方法

注意 電波受信中(受信のための時分秒針の運針中または停止中)は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運針中に操作をしてください。誤作動の原因となります。

- ①電池を入れる
電池ホルダに単3形乾電池1本を+の表示に合わせて入れます。
- ②初期電波受信を開始
電池を入れると、時・分・秒針が早回りをして、12時の位置で一旦停止し電波受信状態となります。
※電波受信中(4~12分間)は針が止まったままになります。故障ではありません。電波受信中は他の操作をしないでください。
※針が停止中にRECボタン、またはM.SETボタンを3秒以上押し続けると受信を終了し、針は12時00分00秒より通常の運針を始めます。
- 電波受信に成功した場合
自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合
時刻を修正しないで、針は12時00分00秒より通常の運針を始めます。
- ③時計を掛ける
※「取り付けについての注意」を参照してください。

電波が受信できなかった場合

- 1.一昼夜そのままにして様子を見る
夜間は比較的電波の状況が良くなるので、受信する可能性が高くなります。
※初期電波受信ができなかった場合は、一日最多8回まで自動受信を開始します。
※電波を受信できない場合は、時計内部で計測している時間により次の自動受信時間まで通常運針を始めます。
- 2.設置場所を変える
設置場所を変えて、再度受信させてください。
- 3.再度受信させる
通常の運針が始まった後に、RECボタンを3秒間押ししてください。時・分・秒針が早回りをして、12時の位置で停止し、再度4~12分間電波受信状態となります。
※針が停止中にRECボタン、またはM.SETボタンを3秒以上押し続けると受信を終了し、通常の運針を始めます。
- 電波受信に成功した場合
自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合
通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。

手動で時刻を設定する方法

- ①通常運針時にM.SETボタンを3秒間押し続けると秒針が早回りをして12時の位置で停止し、手動で時刻が設定できる状態になります。
- ②秒針が停止中にM.SETボタンを1回押しすごとに分針が1分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りし、放すと止まります。時報ユーザービズや、テレビ・ラジオの時報を目安に確認し、午前/午後に注意して時刻の設定をしてください。
※使い始めの電波受信中の時・分・秒針は、正午(12:00)で停止します。合わせたい時刻が午前の場合は、12時間以上移動させて現在時刻に合わせてください。
※合わせたい時刻の10分程度手前で一旦早回しを止めて、残りの数分をM.SETボタンを1回ずつ押し針を進めると合わせやすいです。

③手動設定が終了したら、RECボタンを押す、またはM.SETボタンを放して30秒以上お待ちください。秒針が動き出し通常の運針を始めます。

※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

自動電波受信機能について

本品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより1日最大8回自動電波受信を行います。(1:00、3:00、5:00、7:00、13:00、15:00、17:00、19:00)

電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で運針し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

夜間秒針停止機能について

本品は、内蔵プログラムにより、午後10:00～午前6:00までの間は秒針が12時の位置で停止します。

※夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また、時・分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが故障ではありません。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合はRESETボタンを押してください。設定されている内容が初期状態に戻ります。

時・分・秒針が早回りして12時の位置で停止し、再度4～12分間電波受信状態となります。

※RESETボタンは伸ばしたクリップの先などで押ししてください。針などの鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、リセット操作をしてください。

時計用電池の交換時期について

電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは、針がぐるぐる回ります。このような場合は、速やかに新しい電池と交換してください。

こんな症状のときには…

◆針がぐるぐる回る

①電池を入れた直後の電波の受信準備中

⇒そのままお待ちください。

早回りしている針は、12時の位置で一旦停止します。

電波を受信すると、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

※その間、ボタン操作はしないでください。

②時刻修正中

⇒そのままお待ちください。

電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。

③電池容量が少ない時

⇒新しい電池(単3形乾電池)と交換してください。

◆秒針が止まっている

①夜間秒針停止中

⇒本品は、夜間の秒針のコチコチ音が気にならないように内蔵プログラムにより、午後10:00～午前6:00までの間秒針が12時の位置で停止します。

②手動時刻設定時に、午前/午後を間違えて設定したとき
⇒リセット操作をしてください。

本書「リセット操作について」を参照ください。

③針がぐるぐる回った直後の電波受信状態のとき

⇒そのままお待ちください。

電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を

現在時刻に合わせます。

電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。

④秒針位置の自動補正中

⇒そのままお待ちください。

本品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは、交換を依頼する前に下記を参考にお確かめください。

症状	時計が動かない	原因	・電池が入っていない ・電池の向きが違う ・電池端子の接触不良 ・電池容量が無い
処置	●電池の+の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。 ●端子の表面を拭いて、電池を入れ直してください。		
症状	時計が止まる または、遅れる	原因	・電池容量が少ない ・電波障害
処置	●指定の新しい電池を入れてください。 ●一旦、電池を電池ホルダから取り外してください。 (本書「リセット操作について」参照)		
症状	時分針が早回りした後、動かない	原因	・電波の受信 ・電池容量が無い または容量が少ない
処置	●そのまま12分程おまちください。 その間ボタン操作はしないでください。 (本書「ご使用方法②」参照) ●指定の新しい電池を入れてください。		

製品仕様

■時間精度 : 電波受信直後 ±1 秒以内
(常温の場合) : 電波受信しないとき
(内蔵クォーツ精度) 平均月差 ±30秒以内

■使用温度範囲 : 約 0℃～+40℃

■使用推奨電池 : 単3形アルカリ乾電池 1本

※充電式電池・オキシライド乾電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないでください。

※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能です。

■電池寿命 : 約 1 年

※買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

■標準電波 (JJY) / 時刻合わせ機能 :

40kHz / 60kHz のどちらか受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。

●自動受信 (最多 8 回 / 1 日)

●手動受信

■夜間秒針停止機能 :

午後 10:00～午前 6:00 の間は、秒針が 12 時の位置で停止します。